

国際保健推進室からのお知らせ

紅葉狩り (2024/11/11)



春のBBQ (2024/05/06)



New Year Party (2025/01/06)

GFL学生と留学生の交流

コロナ後、GFL生の自主企画により再開された留学生との交流は、2022年に4人で開始し、現在はGFL生の地道な取り組みにより、40人まで回復しました。また、現在それぞれが抱える問題の解決や文化的交流、日本語や英語のスキルアップをGFL生と留学生の相互関係により行われています。今後は、これらの活動をGFL生の自主企画や留学等へ発展させたいと考えていますので、引き続きのご支援を賜れば幸いです。

(保健学科GFL作業部会長 牧野孝俊)

リハビリテーション専門職 学生の研修受け入れ

1月にGumi大学（韓国）でリハビリテーションを学ぶ学生14名が本学を訪問しました。研修中は、保健学科学生や群馬パース大学学生との交流、多職種連携やWHOの活動に関する特別講義など多彩なプログラムに参加しました。

脳血管研究所美原記念病院での施設見学の際は、母国と異なる医療体制やリハビリテーションの内容に触れ、スタッフの説明にも熱心に耳を傾けていました。



保健学科学生と一緒に
チームビルディング



3Dプリンター体験
(群馬パース大学にて)



美原記念病院見学 (質疑応答の後)

群馬大学大学院保健学研究科附属研究・教育センターとは

群馬大学医学部保健学科及び大学院保健学研究科では、社会の課題解決を目指して、研究、教育、地域保健活動、国際保健活動に積極的に取り組んでいます。これらの活動を進めるための組織として保健学研究科附属研究・教育センターが設置され、このセンター内には5つの推進室があります。今回は国際保健推進室からの報告になります。

私たちの活動をご覧ください、ご意見をお聞かせください。

アンケートへのご協力をお願いいたします。⇒

お問合せ先：保健学研究科長 齋藤貴之 (tsaitoh@gunma-u.ac.jp)

